特定非営利活動法人獣医系大学間獣医学教育支援機構

2025年度（第12期）第4回理事会議事録

日　　時　　：2026年9月7日（月）
場　　所　　：日本獣医生命科学大学（E111）およびオンラインとのHybrid開催

出席者（敬称略）：
理　　事：髙井伸二、志水泰武、迫田義博、佐々木基樹、佐藤　洋、内田和幸、佐々木一昭、竹内崇師、加納　聖、遠藤泰之、山岸則夫、大田　寛、岡野昇三、田中良和、渋谷　久、村上　賢、浅沼武敏（欠席：佐藤礼一郎）
監　　事：（欠席：滝口満喜、樋口豪紀）
事 務 局：宮田桂司

定款第36条に基づき、下記の議案について会議を行い、可否を求めた。

【審議結果】

第１号議案　2026 年度（機構 2025 年度）大学特別会費に関する件

大学特別会費（固定費（一律 30 万円）および共用試験受験者１人当たり５千円の受験者総数分）の内訳を見直し、固定費（一律 15 万円）、共用試験受験者１人当たり５千円の受験者総数分、および学外実習申込者１人当たり５千円の申込者総数分）とすることを総会に付議することが全員一致で承認された。

補足説明：（公開議事録では削除）

機構では、ここ数年、学外実習（NOSAI 臨床実習、各自治体家畜衛生・公衆衛生実習、SKLV センター臨床実習およびその他機関での実習（新 VPCAMP））の調整を行っており、その経費（主に事務局人件費）は大学会費で賄われている。したがって、大学特別会費の必要性をより明確にするとともに、実習関連費用が大学会費で賄われていることを明確にする目的で、固定費の内訳を変更したい。

なお、学外実習関連会費を実習参加者数ではなく、申込者数を元に算定する

ことに関して、実習申込者の中には、申込集中で実習受入が叶わなかったり、受入機関の事情で中止されたり、あるいは申込者の都合で辞退されたりして実習に参加しない学生が含まれるとの指摘があった。

事務局から、実習関連経費は申込者数に依存していること、実習受入が叶わなかった学生に対しては、別の受入先を個別に調整していることが説明され、納得して頂いた。

2026年9月9日

特定非営利活動法人獣医系大学間獣医学教育支援機構理事会

議　長	髙井　伸二	印
議事録署名人	佐々木　一昭	印
議事録署名人	大田　寛	印